

## 諮問事項に関するアンケートの実施結果について

### I アンケートの概要

#### 1 調査期間

令和6年2月1日から令和6年3月31日まで

#### 2 調査対象

令和6年2月1日現在の大田区内の全消防団員 953名

大森消防団 ・ ・ ・ ・ ・ 216名

田園調布消防団 ・ ・ ・ ・ 244名

蒲田消防団 ・ ・ ・ ・ ・ 252名

矢口消防団 ・ ・ ・ ・ ・ 241名

#### 3 調査方法

各消防団事務局を經由してアンケート用紙を配付及び回収した。

#### 4 調査件数

(1) アンケート発送数 ・ ・ ・ 953件

(2) 回収数 ・ ・ ・ ・ ・ 601件 (回収率：63.1%)

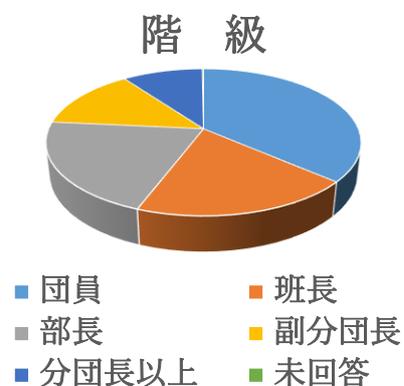
(3) 有効回答数 ・ ・ ・ ・ ・ 601件 (有効回答率：63.1%)

## II アンケートの実施結果

### 1 フェイスシート(回答者属性)

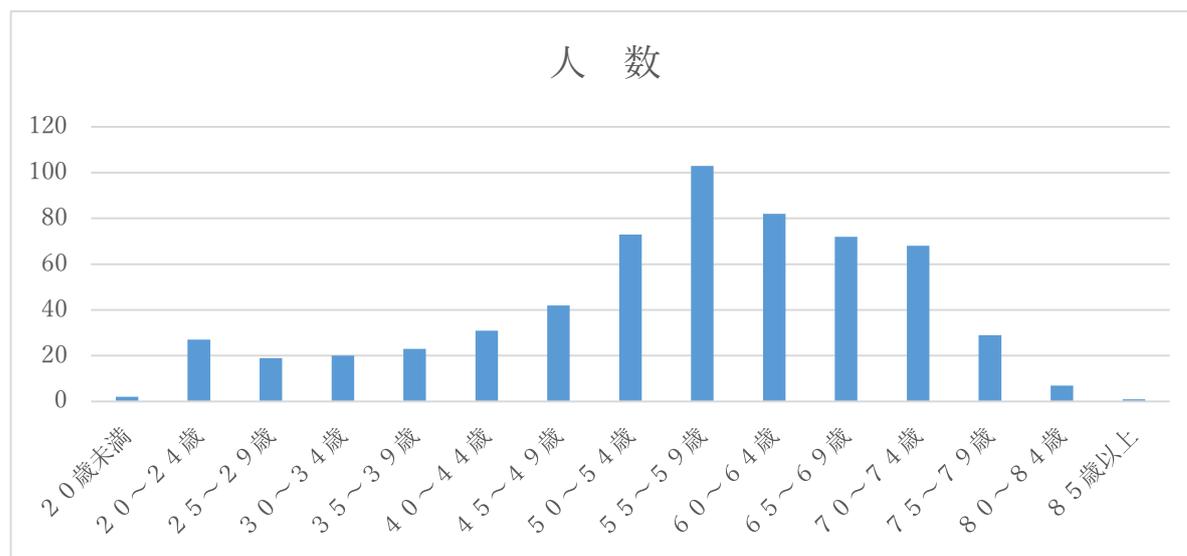
#### Q1 階級

	人数	割合(%)
分団長以上	59	9.8
副分団長	81	13.5
部長	125	20.8
班長	116	19.3
団員	219	36.4
未回答	1	0.2
全体	601	100.0



#### Q2 年齢

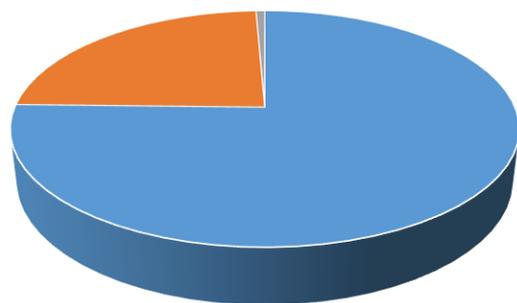
	人数	割合(%)		人数	割合(%)
20歳未満	2	0.3	20~24歳	27	4.5
25~29歳	19	3.2	30~34歳	20	3.3
35~39歳	23	3.8	40~44歳	31	5.2
45~49歳	42	7.0	50~54歳	73	12.1
55~59歳	103	17.2	60~64歳	82	13.6
65~69歳	72	12.0	70~74歳	68	11.3
75~79歳	29	4.8	80~84歳	7	1.2
85歳以上	1	0.2	未回答	2	0.3
			全体	601	100.0



### Q3 性別

	人数	割合(%)
男性	453	75.3
女性	144	24.0
未回答	4	0.7
全体	601	100.0

#### 性別

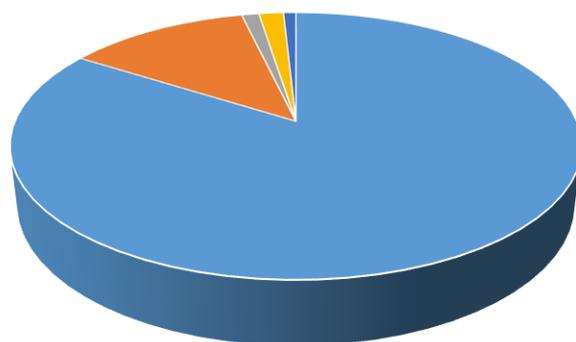


■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない

### Q4 入団形態

	人数	割合(%)
在住	505	83.9
在勤	74	12.3
在学	7	1.2
その他	10	1.7
未回答	5	0.9
全体	601	100.0

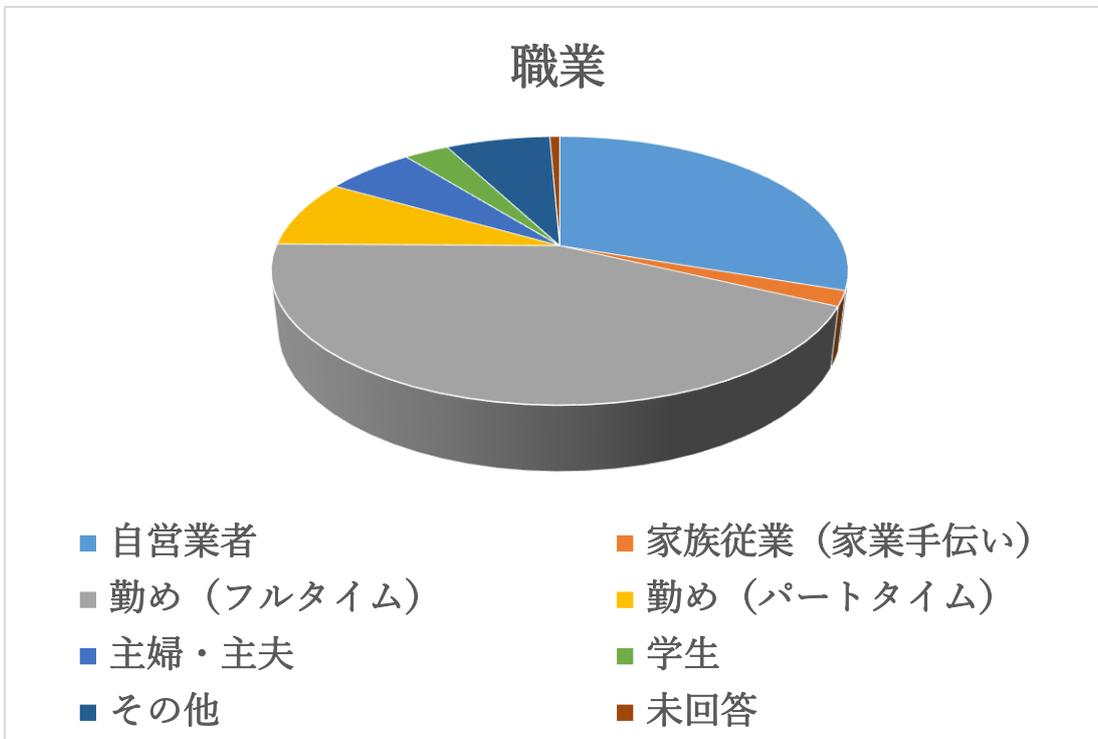
#### 入団形態



■ 在住 ■ 在勤 ■ 在学 ■ その他 ■ 未回答

Q5 職業

	人 数	割合(%)
自営業主	182	30.3
家族従業（家業手伝い）	11	1.8
勤め（フルタイム）	259	43.0
勤め（パートタイム）	49	8.2
主婦・主夫	36	6.0
学生	18	3.0
その他	42	7.0
未回答	4	0.7
全体	601	100.0



## 2 入団し活動を継続したいと思える組織の活性化方策について

Q1 あなたが消防団活動で、やりがいを感じる活動を全て回答してください。  
【複数回答可】

Q2 あなたが消防団活動で、最もやりがいを感じる活動の1つを回答してください。

	Q1		Q2	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
各種災害活動	398	66.2	195	32.4
災害対応訓練	319	53.1	77	12.8
救命講習等指導	252	41.9	76	12.6
警戒活動(祭事等)	338	56.2	68	11.3
防火防災訓練指導	291	48.4	60	10.0
操法大会	211	35.1	58	9.7
広報活動	120	20.0	12	2.0
消防団点検・始め式	116	19.3	8	1.3
規律訓練	145	24.1	7	1.2
その他	5	0.8	4	0.7
未回答	0	0.0	36	6.0

《その他》

- ・入団したばかりのため、これからみつめていきたいです【1】
- ・火災現場での手伝い【1】
- ・団員としてやりがいのある活動全て【1】
- ・まだわからない【1】 特にない【1】

※【 】は回答者数

※Q1の割合は、有効回答数に対する項目ごとの割合

※Q2の割合は、全体回答数に対する項目の割合

Q3 資格取得講座等で、受講者数の拡充など充実してほしいものを全て回答してください。【複数回答可】

	人 数	割合(%)
上級救命講習	229	38.1
応急手当指導員講習	218	36.3
応急手当普及員講習	171	28.5
普通救命講習	147	24.5
可搬ポンプ整備資格者特例講習	145	24.1
危険予知訓練研修	133	22.1
二級小型船舶操縦士講習	128	21.3
惨事ストレス対策団員養成講座	101	16.8
第三級陸上特殊無線技士養成講習	101	16.8
機関科研修（消防学校）	96	16.0
手話技能講習	92	15.3
英会話技能講習	69	11.5
ハラスメント防止講習	69	11.5
健康セミナー	61	10.1
警防科研修（消防学校）	59	9.8
幹部研修（消防学校）	51	8.5
女性消防団員研修（消防学校）	46	7.7
その他	11	1.8

《その他》

- ・運転免許【1】
- ・防災士養成講習【1】
- ・実機（車両）を使用した分解、整備、点検講習等【1】
- ・クラッシュシンドローム【1】重機操作全般【1】
- ・緊急車両運転技能講習【1】
- ・消防団員の基礎（座学）講習【1】

※【 】は回答者数

Q4 資格取得講座、研修等で、行ってほしいものを回答してください。  
【自由記載】

- 防災士養成講習【52】
- 重機操作【49】
- 危険物関係講習【35】
- ドローン【17】
- 災害時対応訓練【11】
- 応急手当等救急関係講習【8】
- 船舶関係講習【7】
- 消防設備関係講習、可搬ポンプ操作講習、緊急走行【5】
- 防火管理者講習【4】
- 無線関係講習【3】
- タブレット、PC 関係、英語を使用した訓練や講習等、運転免許関係（大特、バイク等）【2】
- チェーンソー講習、手話講習、ボランティア講習、管内の地域特性、ペットレスキュー、空港内制限区域内での講習、危険予知【1】

※【 】は回答者数

Q5 あなたが職業やこれまでの経験から、他の団員にできる講話や講習があれば回答してください。【自由記載】

- 普通救命講習、救急処置、CPR等【21】
- 資器材（チェーンソー等）取り扱い【17】
- 可搬ポンプ、積載車運用【13】
- 被災地での経験【12】
- 重機操作（解体現場等）【5】
- 消防設備士関係（取扱い等）【4】
- 災害活動経験、語学（英語、中国語等）【3】
- 手話、危険物取扱者講習等、PC関係【2】
- 防災訓練でのガイドヘルパー【1】
- 倒壊危険建物の判断等【1】
- 自衛消防関係【1】
- 電気火災関係【1】
- 運転操作（大型）【1】
- 船舶関係【1】
- 柔道【1】
- 建物の構造等【1】
- 規律訓練【1】
- 防災クッキング【1】
- 安全管理【1】
- 消防団員としての心構え【1】
- 結索【1】
- ラジオ体操指導【1】
- メンタルヘルス関連（PFA等）【1】
- 音響関係【1】
- ハラスメント関係【1】
- 危険予知【1】
- 手芸関係【1】
- ドローン操作【1】
- チームビルディングに関する指導【1】

※【 】は回答者数

### 3 計画的な人材育成方策について

Q1 教育訓練で必要と思うものを全て回答してください。【複数回答可】

	人 数	割合(%)
各任務班に応じた、具体的な訓練の到達目標の提示	298	49.6
可搬ポンプ操法訓練（操法大会）での、基本的な消防活動技術の習得	274	45.6
教育訓練を指導できる消防団員の育成	245	40.8
消防団員が他の団員を教育訓練するためのマニュアルの整備	228	37.9
消防署、方面訓練場、消防学校などの教育訓練場所の開放	164	27.3
訓練の到達状況を管理できるシステム	148	24.6
訓練の到達状況を識別できる標示（ワッペン、ヘルメットへの表示等）	116	19.3
上位の階級への補職時に、階級に応じた訓練の到達を条件化	114	19.0
訓練の到達状況を確認する操法大会以外（救助、救命など）の審査会を実施	100	16.6
その他	15	2.5
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害現場での訓練（情報収集、想定訓練等）【5】</li> <li>・ 国民保護消防として避難誘導が消防の任務として新たに規定された内容【1】</li> <li>・ 放水訓練（防火水槽以外からの送水、2口放水等）【1】</li> <li>・ e-learning の活用強化【1】</li> <li>・ 活動に伴う勉強会の実施【1】</li> <li>・ 被服の着用方法等の教養（新入団員向け）【1】</li> </ul> <p style="text-align: right;">※【 】は回答者数</p>		

Q2 あなたが行いたい訓練の上位5つを回答してください。【5つまで】

	人 数	割合(%)
応急救護訓練	312	51.9
救助救出活動訓練	308	51.2
放水訓練	307	51.1
救助資器材取扱い訓練(チェーンソー、スプレッターなど)	263	43.8
可搬ポンプ運用訓練	231	38.4
可搬ポンプ操法訓練(操法大会)	200	33.3
ロープ結索訓練	179	29.8
無線運用訓練	162	27.0
防火防災訓練指導要領訓練	145	23.8
応急救護指導要領訓練	129	21.5
車両運行訓練	126	21.0
防水シート展張訓練(水損防止など)	102	17.0
規律訓練	86	14.3
照明資器材取扱い訓練(投光器など)	73	12.1
水防工法訓練	63	10.5
その他	10	1.7
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指揮本部運用訓練【2】</li> <li>・資器材の基本訓練全般【1】</li> <li>・国民保護の知識と消防団としての行動訓練【1】</li> <li>・交通誘導訓練【1】</li> <li>・懸垂下降訓練【1】</li> <li>・全て【1】</li> </ul> <p style="text-align: right;">※【 】は回答者数</p>		

## 4 活動環境の改善方策について

Q1 現在の消防団専用タブレットに導入してほしい機能を回答してください。  
【自由記載】

- 個人のスマホと連携できる機能（スケジュール、ライン、メール等）【72】
- 出勤記録の管理【38】
- 報酬等のデジタル明細【15】
- 消防団専用タブレットの存在を知らない。わからない。【7】
- 訓練動画、教養動画（e-learning、研修、講座等）の視聴できる機能【5】
- 消火栓、防火水槽が確認できるマップ【4】
- 事務局からの連絡や通知等が確認できる機能（災害時含む）【4】
- 災害時の所在、被害状況等が確認できるマップ【3】
- 出火報時の連絡を受けられる機能【3】
- AEDの設置場所が確認できるマップ【2】
- 消火器の設置場所が確認できるマップ【2】
- 給貸与品等を事務局へ申請できる機能【1】
- 消防団の資器材等管理できる機能【1】
- 老眼アプリ【1】

※【 】は回答者数

Q2 今後、導入してほしい資器材、改善してほしい資器材を回答してください。  
【自由記載】

- ガンタイプノズル【64】
- 無線機の統合、団員個人への無線機（インカム等含む）の導入【40】
- 電動アシスト付可搬ポンプ台車【21】
- 可搬ポンプ、積載車改良（軽量化、4サイクル、資器材スペース確保等）【13】
- ドローン【13】
- 無線機の改良（アンテナ、イヤホン等）、バイク（オートバイ）【6】
- 自動ホース巻取り機、各分団の資器材（可搬ポンプ等）を統一してほしい【5】
- 油圧ジャッキ等、50mmホース、電動アシスト付自転車、空調ベスト【4】
- 発動発電機・投光器の改良、チェーンソー【4】
- ライト改良（ヘッド・ハンド兼用、LED等）、防火服の改良【3】
- 大規模災害時資器材（炊出し、処置等）【3】
- 電動アシスト付水槽【1】
- タイヤブリッジ、梯子、フローティングストレーナー、スタンドパイプ【2】
- 無反動管そう、吸水フロート【2】
- リヤカー（アルミ製）、ホースブリッジ、電動ハンマー、ホースバッグ【1】
- ホース修理（穴あき等）ができる資器材、暖房器具の拡充、水槽の改良【1】
- 電動トライク（ポンプ積載）、チャップス、ゴムボート、充電電池【1】
- 災害時にり災状況、交通状況がわかるモニター等【1】
- 格納庫の鍵を顔認証、指紋認証に変更、分団本部に給湯器設置【1】
- 完全防水の消防団専用タブレット【1】
- ホース内の水を排水するための圧縮空気を送る装備とポンベ【1】
- 格納庫にコンセントを付けてほしい【1】

※【 】は回答者数

Q3 特別区内消防団の意見として、「手引き可搬ポンプ台車の軽量化、コンパクト化、電動化」が示されています。手引き可搬ポンプ台車を改良すると、現行の「特別区消防団可搬ポンプ操法」を変更する必要がありますが、最も近い意見を1つ回答してください。

	人 数	割合(%)
改良後の台車にあわせて可搬ポンプ操法を改正すればよい	358	59.6
台車の仕様に影響を受けないよう、都大会においても、全国大会で行っている、台車を使用しない可搬ポンプ操法で行えばよい	94	15.6
現行の可搬ポンプ操法に影響がないよう、一部、改良前の台車を残せるよう、改良台車の配置を制限すればよい	50	8.3
可搬ポンプ操法に影響がでるから、改良はしない方がよい	43	7.2
無回答	56	9.3

Q4 消防団員が災害活動に従事する意識を更に向上させる方策で有効だと思うものを全て回答してください。【複数回答可】

	人 数	割合(%)
出火報等の災害伝達を、より迅速、確実に行うシステムの導入	429	71.4
活動内容に応じた費用弁償の支給や、年額報酬への加算制度の導入	203	33.8
出火報での出場における、可搬ポンプでの水利部署を必須化	135	22.5
出場回数及び従事回数に応じた表彰制度の導入	113	18.8
その他	18	3.0
<p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詰所設置【1】</li> <li>・消防無線受令機を全団員に配る【1】</li> <li>・災害出場に慣れるため、先輩が後輩をサポートする体制の整備【1】</li> <li>・出火報の結果（鎮火報等）連絡【1】</li> <li>・災害保険への加入【1】</li> <li>・本人の消防団であるという自覚をもつこと【1】</li> <li>・通常の連絡伝達を確実に行うシステムの導入【1】</li> <li>・出場の回数等によって退職報償金の減額【1】</li> <li>・定期的に災害の映像をみたり、VR 防災体験車に乗車する【1】</li> <li>・分団内のコミュニケーションと他分団との連携【1】</li> <li>・出火報の連絡時にメール等で地図を添付するシステムの導入【1】</li> </ul> <p style="text-align: right;">※【 】は回答者数</p>		

## 5 その他、意見がありましたらお聞かせください 【自由記載】

- 操法大会の廃止検討（より実践に即した訓練を強化）、操法大会への不満【13】
- アンケートを紙ではなく、電子化（タブレット、スマホ）すべきである。【6】
- 団始式での表彰が多過ぎて重みや価値がない。表彰状や額縁はいらない。【5】
- 資器材の軽量化、デジタル化（書類や連絡手段等）をしてほしい。【5】
- 新入団員の被服がない。被服が合わない、揃うまでに時間がかかる。被服関係の要望全般【4】
- タブレットの操作等の教養を実施してほしい。【2】
- 在職年数だけの表彰制度では意味がない。【1】
- アンケート結果を開示してほしい。【1】
- 方面訓練場等実火災を想定した訓練の回数を増やしてほしい。【1】
- 土日が仕事のため、平日の訓練を増やしてほしい。【1】
- 未活動団員への対処を早めにしてほしい。一定期間活動がない場合、団課及び団本部から本人に連絡する等してほしい。【1】
- 団員全員が積載車を操作できるようにした方がいい。【1】

※【 】は回答者数

# 回答数が上位を占めた「選択項目」について

〈 回答数の多かった選択項目 〉

※【 】: アンケートを示す

## 1 消防団員がやりがいを感じる活動【 2 - Q1】

- 各種災害活動
- 警戒活動(祭事等)
- 災害対応訓練
- 防火防災訓練指導
- 救命講習等指導

## 2 充実を望む資格取得講習等【 2 - Q3】

- 上級救命講習
- 応急手当指導員講習
- 応急手当普及員講習
- 普通救命講習
- 可搬ポンプ整備資格者講習

## 3 必要と思う教育訓練【 3 - Q1】

- 各任務に応じた具体的な訓練の到達目標
- 可搬ポンプ操法訓練での基本的な消防活動技術の習得
- 教育訓練を指導できる消防団員の育成
- 消防団員が他の団員を教育訓練するためのマニュアルの整備
- 消防署、方面訓練場、消防学校などの教育訓練場所の開放

## 4 団員が行いたい訓練【 3 - Q2】

- 応急救護訓練
- 救助救出活動訓練
- 放水訓練
- 救助資機材取り扱い訓練
- 可搬ポンプ運用訓練

## 5 手引き可搬ポンプ台車の軽量化、コンパクト化、電動化が実現した場合に、特別区消防団可搬ポンプ操法を変更するか【 4 - Q3】

- 改良にあわせて可搬ポンプ操法を改正すればよい。
- 台車の仕様に影響を受けないよう、都大会においても、全国大会で行っている台車を使用しない可搬ポンプ操法で行えばよい。
- 現行の可搬ポンプ操法に影響がないよう、一部、改良前の台車を残せるよう改良台車の配置を制限すればよい。
- 可搬ポンプ操法に影響が出るから改良はしないほうがよい。

## 6 消防団員が災害活動に従事する意識を更に向上させる方策で有効だと思うもの【 4 - Q4】

- 出火報等の災害伝達を、より迅速、確実に行うシステムの導入
- 出火報での出場における可搬ポンプでの水利部署を必須化
- 出勤内容に応じた費用弁償の支給や、年額報酬への加算制度の導入
- 出場回数及び従事回数に応じた表彰制度の導入

## 回答が多かった「自由記載」の内容について

※【 】: アンケートを示す

### 1 資格取得講座、研修等で行ってほしいもの【 2 - Q4 】

- 防災士養成講習
- 重機操作
- 危険物関係講習
- ドローン
- 災害時対応訓練

### 2 あなたが職業やこれまでの経験から、他の団員にできる講話や講習【 2 - Q5 】

- 普通救命講習、応急処置、CPR等
- 資器材取り扱い
- 可搬ポンプ
- 積載車運用
- 被災地での経験

### 3 現在の消防団タブレットに導入してほしい機能【 4 - Q1 】

- 個人のスマホと連携できる機能
- 出動記録の管理
- 報酬等のデジタル明細
- 消防団専用タブレットの存在を知らない

### 4 今後導入してほしい資器材【 4 - Q2 】

- ガンタイプノズルの導入
- 無線機の統合、団員個人への導入
- 電動アシスト付き可搬ポンプ台車
- 可搬ポンプや積載車の改良
- ドローン

### 5 その他自由記載【 5 】

- 操法大会の廃止検討・操法大会への不満
- アンケートを電子化すべき
- 始式での表彰が多すぎて価値がない
- 資器材を軽量化、デジタル化してほしい
- 新入団員の被服がない